



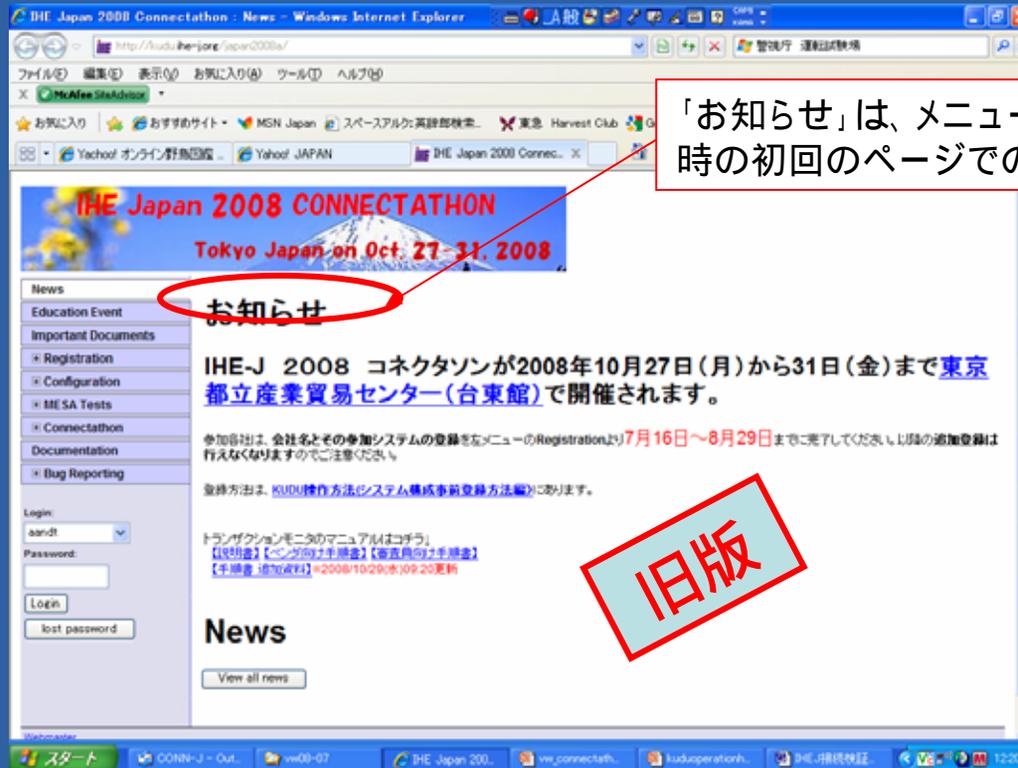
コネクタソン実施内容

2009/5/22

渡邊昌彦
IHE-J 接続検証委員会

- IHE事務局への「紙」による参加申し込みと参加費用の払い込み
6月1日～6月26日まで(別途事務局から連絡)
- 参加ベンダーベンダーワークショップ
コネクタソン実施方法、テスト・シナリオなどの説明(7月23日)
- 「KUDU」(インターネット・ウェブ)からのベンダーごとの参加システムの登録
どんなシステム構成でどんな統合プロフィールを申請するかを登録(7月23日以降)
- 事前テスト実施と結果の提出
申請プロフィール・アクターに応じて結果提出(期日:10月1日予定)
- 実機接続テスト(コネクタソン)
参加ベンダーの担当者とPM(プロジェクト・マネージャ)がKUDUを用いて、相互接続確認テストを実施(2009年10月26日～30日)

コネクタソンの実施にあたって、参加ベンダーの登録からテストの進捗管理、結果の記録までおこなう総合管理システム



「お知らせ」は、メニューを選んでいない時の初回のページでのみで表示される

旧版

- 基本的には2008年度と同じである。
<http://kudu.ihe-j.org/japan2009/>
(詳細未定:次回VWに参加申し込み各社に通知)

現在、以下のURLで2008年度の情報参照できる。

<http://kudu.ihe-j.org/japan2008a/>

Log -In: "ihejuser" Password: "ihej2008"

- IHE J 2009 コネクタソン実施会場及び期間

東京都立産業貿易センター(台東館) 2009年10月26日(月)~30日(金)

- 実施概要

- 申請した統合プロフィール・アクターの組み合わせから予め指定されたテスト・シナリオを参加者同士で実施する。
- テストが成功した場合、その実施結果をPM(プロジェクトマネジャー)に確認してもらい完了のサインを得る。
- 同一テスト・シナリオで3件以上確認をえたら、そのテストは完了したことになる(3インスタンス・ルール)。
- 申請した統合プロフィール・アクターの可能な組み合わせのテスト・シナリオがすべて完了した場合、そのシステムの統合プロフィール・アクターは完了となる。
- 申請したシステムごとに、実施すべきテスト・シナリオ、組み合わせ相手、テストの進捗状態、すべてKUDUを用いて運用される。今年度はさらにKUDUにTM(Transaction Monitor)を組み合わせることでテスト結果の記録および原則として照合まで行う。

- **コネクタソンへの参加の前提条件**

参加ベンダーはコネクタソンでの作業を軽減し効率化するため、原則として事前にVALIDATION TOOLを用いてDICOMやHL7のメッセージのテストを行い結果をIHE-Jに提出する(原則としてMESA TOOLは用いない)。

但し、放射線科、循環器及び臨床検査以外については各ドメインの分科会にて別途定めるテストを行う。

- **実際の適用**

- DICOM系システム(RIS、PACS)、HL7系システム(HIS、RIS、LAB)

プロファイル/アクター毎に事前テスト用に提供されるテストシナリオについてVALIDATION TOOLを用いてテストしその結果の合否を提出する。

- 提出締め切り: 予定(9月下旬ごろ)

- 統合プロフィールで用いられるメッセージを検査するテストツールで、DICOM系とHL7系のメッセージについての事前テストや本番のテストなどで用いる。
- 予めシナリオに一連の実行するテスト電文を用意して、それに従い電文の送受信とその結果を記録する。
- 最終的には、正解との照合とその合否まで行える予定。
- 7月末ごろ配布予定

- コネクタソンの本番シナリオテストにおいてテスト対照システムの間に入ってメッセージのやり取りを記録し、検証を行う。
- 実施テストの情報や開始・終了のタイミングなどはKUDUと自動的に連携して行われる。
- また、最終的には、VALIDATION TOOLと連携して正解との照合とその合否まで行える予定。

(説明資料はインターネットのKUDUページにリンクがある。)